

テーマ

①町内自治会長（校区自治協議会長）としての悩み

②第1回座談会の意見

No.	区分	ご発言	回答 ※【 】で記載されているものは、当日の発言です。 （ ）で記載されているものは、座談会後に市の考え方を示したものです。
1	工夫	子ども会の雨乞い太鼓などの練習や伝統芸能を通じて子ども・保護者と関係を維持している。	(地域政策課) 日頃から地域の人が顔を合わせる機会があることで、世代を超えた「顔の見える関係」が育ち、地域での支え合いや見守りにもつながります。 今後も、活動の目的や内容を分かりやすく伝えながら、参加しやすい形で続けていきたいと思います。
2	ご意見	コロナで行事が中断し、再開しようとするも高齢化で実施が困難になっている。	【市長】 ご意見をいただき、町内自治会や校区自治協議会といったこれまでの枠組みが、従来と同じやり方・同じペースでは立ち行かなくなる局面にきていると強く感じております。 その背景には人口減少や少子化があり、現状の減少はまだ序盤に過ぎず、2030年以降にはさらに進んでいくものと考えております。 一方で、地域によっては新しい住民が増えるなど環境の変化も見られ、地域の姿は様々ではありません。このような状況の中で、今後は校区を越えた連携や、より柔軟な仕組みづくりが必要になると考えております。 現在の行政運営は、自治会の皆様のご協力によって成り立っており、そのご負担が非常に大きいことも認識しております。だからこそ、この仕組みをどう維持し、持続可能な形に再構築していくのかを、限られた資源の中で皆さんと一緒に模索し、具体的な提案をいただきながら作り上げていくことが重要だと考えます。
3	ご意見	少子高齢化が進んでる中で、校区単位の枠組みは変わる時期に来ていると思う。	(地域政策課) 町内自治会の高齢化や担い手不足は、多くの地域で共通する課題となっています。役員や一部の方に負担が集中しないような業務分担や無理のない活動内容への見直し等を通じて、地域全体で支え合いながら自治会活動を継続していくことが望ましいと考えます。 また、「くまもとアプリ」を活用したボランティア募集により、若い世代が、無理のない形で地域活動に関わるきっかけづくりも可能となります。ぜひ積極的な活用をご検討ください。 ○熊本市「くまもとアプリ」特設サイト https://kumamoto-point.jp/
4	ご意見	高齢化で子ども会や婦人会が消滅した地域がある。	(地域政策課) 町内自治会の高齢化や担い手不足は、多くの地域で共通する課題となっています。役員や一部の方に負担が集中しないような業務分担や無理のない活動内容への見直し等を通じて、地域全体で支え合いながら自治会活動を継続していくことが望ましいと考えます。 また、「くまもとアプリ」を活用したボランティア募集により、若い世代が、無理のない形で地域活動に関わるきっかけづくりも可能となります。ぜひ積極的な活用をご検討ください。 ○熊本市「くまもとアプリ」特設サイト https://kumamoto-point.jp/
5	ご意見	定年延長や高齢化で担い手が確保できず、自治会存立そのものが危ぶまれる地域がある	(地域政策課) 町内自治会の高齢化や担い手不足は、多くの地域で共通する課題となっています。役員や一部の方に負担が集中しないような業務分担や無理のない活動内容への見直し等を通じて、地域全体で支え合いながら自治会活動を継続していくことが望ましいと考えます。 また、「くまもとアプリ」を活用したボランティア募集により、若い世代が、無理のない形で地域活動に関わるきっかけづくりも可能となります。ぜひ積極的な活用をご検討ください。 ○熊本市「くまもとアプリ」特設サイト https://kumamoto-point.jp/
6	ご要望	秋津浄化センター跡地については、地域の声を反映させてほしい。	(浄化対策課) 秋津浄化センター跡地については、引き続き地域の声を聴きながら有効活用に向け検討してまいります。
7	ご要望	ゴミステーション管理支援補助金で防鳥ネットを購入しているが、カラスによるごみ荒らしが深刻なので、ゴミ袋を丈夫なものにできないか。	(廃棄物計画課) ごみ収集や環境工場での処理の際に支障が出るので、ごみ袋は破れるようにする必要のあることをご理解いただければと思います。 また、カラス対策としては、ごみステーションのネットをポケット状にして、その中に入れる、袋の結び目をしっかり結ぶ、生ごみは袋を二重にするなど、ごみの出し方の工夫で改善できる場合があり、市ホームページにも取組事例を紹介しておりますので、ぜひ参考にさせていただきたいと考えます。 ○ごみステーション管理の取り組みを紹介します（熊本市ホームページ） https://www.city.kumamoto.jp/kankyo/ki_ji0035353/index.html
8	ご要望	消防団や交通指導員は手当が支給されるが、他のボランティアには助成金のみで不平等だ。	(地域政策課) 消防団や交通指導員は制度に基づき手当が支給されていますが、町内自治会などの地域活動は、住民の自主的な参加と協力により成り立っている点に違いがあります。 町内自治会は、防犯や見守り、環境美化など地域の安全・安心を支える重要な役割を担っています。 熊本市としても、補助金の交付や負担軽減への配慮などを行いながら、地域活動が継続しやすい環境づくりに努めてまいります。
9	ご要望	市の縦割り助成を校区への一括交付へ変更し、校区の裁量で実情に応じた配分にしたい。	(地域政策課) 市の助成制度について、校区単位での一括交付や裁量配分は、地域の主体性を高める考え方の一つとして受け止めております。 一方で、支援にあたっては制度の趣旨や公平性への配慮も重要とされています。 熊本市としては、こうした点を踏まえながら、より効果的な支援のあり方を検討してまいります。
10	ご要望	地域づくりに市の職員やOBがもっと関わってほしい。	【市長】 職員の積極的な地域活動への参加を促すため、PTA活動やボランティア活動などへの参加を評価する「職員ポイント制度」を導入しています。 (地域政策課) 「くまもとアプリ」を活用し、地域活動のボランティア募集や活動実績の見える化を行うことで、市職員を含めた幅広い世代の参加を促進しています。あわせて、これらの活動を「職員ポイント制度」により評価することで、職員が積極的に地域づくりへ関わるよう促しており、地域とのつながりを深める取組を進めています。 ○熊本市「くまもとアプリ」特設サイト https://kumamoto-point.jp/

テーマ

- ①町内自治会長（校区自治協議会長）としての悩み
- ②第1回座談会の意見

No.	区分	ご発言	回答 ※【 】で記載されているものは、当日の発言です。 （ ）で記載されているものは、座談会後に市の考え方を示したものです。
11	ご要望	熊本駅西口の改修にともなう住民説明会の参加者が少なかった。開催方法に課題があると思う。	<p>（市街地整備課）</p> <p>このたびは、熊本駅新幹線口（西口）駅前広場の改修に関する住民説明会の開催方法についてご意見をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>当該説明会は、令和8年2月6日（金）19時から、駅前広場周辺の住民・事業者（春日校区第1町内）を対象に、工事着手時期や内容の周知を目的として開催いたしました。</p> <p>ご指摘のとおり、当日の参加者が11名にとどまり、十分な参加が得られなかったことと認識しております。このため、送迎等で駅を利用される方々なども含め、必要な情報が広く行き渡るよう、テレビCM、市政テレビ放送、新聞・ニュース等を通じて情報発信を行ったところです。</p> <p>今後は、より多くの方々にご参加いただけるよう、開催候補日の設定や事前周知の方法を再度検討してまいります。</p> <p>今後とも、本事業の推進にあたり、地域の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>